

優秀賞 東京都 和泉 様（30代 男性）

今から十数年前、僕は世間知らずで、生意気な大学生だった。

とても恥ずかしく、後悔している記憶がある。あれは確か、クラブの部室でお喋りをしていた時だったと思う。二十歳になって、国民年金の学生納付特例の手続きを行おうとしていた後輩に、僕を含む上級生たちは、こう言ったのだ。

「え！馬鹿じゃないの！？年金なんて絶対に潰れるんだから、そんなの払うだけ無駄だよ。俺たち誰も払ってないよ。」

誰も払っていない、というのが本当だったかは分からない。実際には保護者が払っていた友人もいたようだ。でも、僕は本当に払っていなかったし、僕の両親も同じ考えだった。というよりも、親の口ぶりを、僕は何も考えずに真似していただけだった。大学4年生にもなって、自分の頭で判断していなかったのだ。

その後、僕は大学を卒業し、金融機関に就職した。社会人になり、営業成績を上げるために毎日精一杯働いた。

多くの金融機関の新入社員がそうであったように、僕も学生時代の友達にしょこく連絡を取り、さかんに自社の金融商品を薦めた。

正直に告白すると「もう年金制度なんて、あんまり当てにできませんからね」といったニュアンスの言葉も使ったこともある。「だから当社の、この商品に入りましょう」というわけだ。

「金融ビッグバン」というキーワードが声高に叫ばれている時代だった。日本の金融機関は必死で世界標準を目指していた。もちろん、それは当時の事情から避けられないことだったし、そのこと自体は悪いことではない。お金に関することが「フリー」で「フェア」で「グローバル」になるのは、基本的に良いことだ。

しかし当時、外側にはばかり目を向けて、この国のお金に関する最も根源的な制度である「年金」について、真剣に向き合うことを避け、それで構わないのだと開き直っていた社会の風潮も、確かにあったように記憶している。

そういう風潮に安易に乗った人たちは、年金制度を軽視し、年金保険料を納付

し、その制度設計や運用に取り組む人たちの姿をあざ笑った。それが、さも「クール」であるかのように振舞っていた。より正確に言うと、そうした態度をとることで、年金保険料納付という義務を果たさない後ろめたさから、目を背けていたのだ。少なくとも、僕はそうだった。

笑い話のようだけど、金融ビッグバンで世界標準を目指し「グローバル」で「クール」な経営を目指した僕の会社は、いろいろあって消滅した。

僕は転職し、職を失い、病気もした。一時期お金にも本当に苦労した。僕はその時になって初めて、年金や社会保障制度のことを、自分で調べ、自分の頭で考えた。失業中には国民年金の免除手続きを行った。その時の複雑な気持ちを、今でも鮮明に覚えている。

僕は少しだけ賢くなり、幸いなことに好きな人と結婚し、新しい職業につき、どうにか生きている。ようやく生活が安定し、失業中に免除をお願いした年金保険料は遡及して納付した。

長生きしている祖父に聞いて驚いたことがある。厚生年金制度が始まったのは、なんと戦前だったというのだ。調べてみたら本当だった。

これは、とても凄いことだ。「制度破綻」なんて生やさしいものではない、戦争に負けて日本という国自体が根本から変わってしまった時でさえ、年金制度は継続したのだ。そして、戦前から納付したお金は、しっかり今のお年寄りの生活を支えている。こうした事実は、もっと周知されていいと思う。

お年寄りといえば、「なんで俺たちが、上の世代を支えなきゃならんのだ?」といった類の言い方を聞くことが、今でもある。

確かに賦課方式だから、「他人を支える」機能はある。しかし、なによりも、年金制度というのは「自分自身のため」にあるものだと、僕は考えている。

かつて金融機関の片隅に身をおいた人間としての感想だが、僕たちの国の年金制度は、器用ではないかもしれないけれど、とても誠実な性格をしている。

社会や経済や人口といった、様々な要因と向き合い、苦労はしているようだが、そんな中でも常に最適な選択をしようと一生懸命であり、可能な限り公正であろ

うとしている。何より、決して逃げようとしていない（あっというまに消滅してしまった、僕の昔の勤務先とは随分違う）。

人間だから、過ちはある。上手くいかない時期だってある。僕の人生がまさにそうだった。年金制度だって同じだろう。大切なことは、そうした過去を素直に振り返り、正しい振る舞いを始めることだ。どんなことでも、やり直すのに遅すぎるということはない。

僕はいま、自分自身と大切な家族のために年金を納めているが、大学生の頃の数年間に国民年金保険料を払わなかったことを、非常に後悔している。10年以上前の未納だから、さすがに遡及して納めることはできない。

「惜しいことをした」と、素直に思う。でも、きっと、こういうのを自己責任というのだろう。